



▲羽子板の由来

盛装の紅燈三五人、門松を種に正月二日を待つ、總喉に先づ露の初春を福らし、正二月と羽子打返して受取ぬたを返贈し玉なす顔に露のぬれは露に柔し見るからに春のすさびの面からすや左れば、露のぬれを固く先づ先づを置ても、此羽子板を戒るを例とする故に羽子板は歳市の大立物として、例年十二月十五の、深川富ヶ岡八幡宮の市に現るのを始とし、深川神田愛宕等の市を経て市内の家々に愛嬌のぬまを分つるべし

羽子板は其語つき板と呼れ羽根はここの子と呼れしどかや其語原は待て詳かりねども今より凡を五百年の昔に文安の頃已に存在したりといへば其由来の久しきを知し或説によれば子守が積まれるのを追羽を爲し羽根を駒に擬してつうするが今の追羽との起源なりといへり左れば羽子板は若より夏にこそ其必要を見べかりしに何時の頃よりか單に板具となり來りて徳川の代には其形より見物になり上り諸大名より下町民に至りてで男兒の土産に破風弓の贈物ありしが如く、苟も女兒の土産にハ其近親より必し贈様、嫁禮の羽子板を贈る例としり但し此嫁禮様羽子板に雲の紋の附たるは徳川家一門に於ける贈物にして其他諸家に於ては此場合に必ず定紋を附して贈りしものなり

此羽子板は念地に様彩色を施したるものにして頗る美麗なり羽子板商人は壽帯之を箱板といふ

羽子板進歩の状況

羽子板の板は其初め極めて不恰好のものにして繪摺模も亦粗雑なり地板に胡粉を塗り其上に墨又は一二の飾の具を用ひ、粗畫を描きたるに過ぎしが追々進歩して文化文政の項に至るは押繪の人物を貼附し、其後佛徳の御顔を附して賣出たるありしに、此品非常に好評を得て賣高も亦甚多かりしなり、爾後年々歳の市子板は佛徳の御顔を附したる品を多く賣出に至れり然るに天保年間老中水野忠尚の改革に、羽子板に此御顔を明

る事を嚴禁せられたりしが幾許もなく其禁解けて流行登り盛になり行き近年に至りては其製法いよ巧様を極めて賣高を益し、最初一人立身なりしものも二人立身入り五人立身なり或は全身、風景等の押繪を附して賣出に至りしに、押繪の初めは鏡に顔のみたる姿に擬し然るものにて大抵は半身のもののみなり而して羽子板の表には佛徳を下下に附して佛徳の鏡の如く用ひ、左れば昔時は羽子板の寸法を呼ぶの字を用ひ大鏡、中鏡、小鏡といひ其後中鏡を略して大鏡、小鏡の二となし、已にして又大鏡、小鏡、大相、小相等の寸法となり、次に尺、九寸、八寸等の寸法行はれ、幅を通稱し、幅寸寸法を用いるに至り其長尺五寸上部の幅五寸三分の法を採りて、此は佛の大鏡、中鏡、小鏡より尺、九寸、八寸の子を生み其子より此法を生たりといふの意なるべし、爾後退今大形の物流行し近年に到りては、尺八寸より二尺と云ふ寸法も現はれ出たり

羽子板の寸法及其相場  
昨年未だ於る羽子板の相場、原料購買の爲騰して二割以上二割半高なりしと左に其相場の大略を掲ぐべし

二尺	上二枚	二四冊錢より
尺八	同上	一四八十錢より
孫	同上	一四四十錢より
尺五寸二人立	同上	五十五錢より
大鏡、尺四寸一人立	同上	廿五錢より
小鏡、尺三寸(同)	同上	廿三錢
大相、尺四寸(同)	同上	三十錢
並小相	同上	十五錢
並尺	同上	五錢より
同八寸	一個	二錢五厘まで
同八寸	(同)	二錢まで

又東京に於て年々羽子板の賣高は凡一萬二三千單位に於て又該の市其他へ出店せる羽子板商人は百五六十人なりといふ

新年が目出たら移坐ります、初年年中だけふも花王あすも花王、王、鹿印から石蠟まで一方ならぬ御歳費を費りまして誠に有難、存じまはせ勿論淨注文の込合、した



製出品目  
花王石蠟  
人印石蠟  
鹿印煉齒磨

差支の無き、工揚を廣め職工を増し一回花王を勤へてたが、たれ大職職致しますれ、端々相頼ら、中佛愛顧の程を偏へに願ハ来ります、 恐惶謹言

東京市日本橋區馬喰町二丁目  
花王石蠟本舖  
長瀬 富郎  
(電話浪花九三二)



# 謹賀新年

各位益々御慶奉大賀無而弊屋古來  
 立を以て日増に繁昌仕業雖有御  
 就けるが御厚意に層業務に  
 改良の切に百事懇大勉強可仕  
 何卒倍荷の御愛顧御投書の程に本願候  
 恐惶謹言  
 願島縣時代信天部福島町  
 本町通七丁目 御商人定印  
 布袋屋號 安齋小兵衛

改曆萬福 大坂 伊藤仁壽堂  
 改曆奉祝 根本 田立屋勝造  
 改曆慶賀 新潟 川崎又吉  
 新年賀慶 若松 河内屋濱吉  
 新年萬福 足利 櫛屋文次郎  
 新年大慶 福島 草野幸太郎  
 新年同慶 郡山 根本祐太郎  
 新年謹賀 甲府 和泉屋徳兵衛  
 新年謹祝 新潟 越中屋次郎八  
 新春敬賀 長野 青木專助

# 名古屋物産 廣告

## 謹賀新年

洋花御足付各種 ● 賣湯洋花御各種 ● 洋花かんざし各種 ● 有  
 留美丁員付各種 ● 有留美丁員細工兩天各種 ● 有  
 唐摺各種 ● 及製田保傳神像服各種 ● 白玉金銀各種 ● 竹  
 客年中へ百事御厚情ヲ蒙リ 難有拜謝候向本年も倍荷御愛  
 顧之中奉願上候  
 一月元旦

小問物問屋 近藤太兵衛  
 名古屋 市末廣町



## 顔の即座に治す



あけましておめでどう 舊年中も御蔭様でよく賣れまして猶本年も不相變  
 いろを白くしにさびを去りおしろいやくあせもひやく白粉下に尤よし



定價 大塲五十錢 ● 一箱六本入 ● 二十箱合一掛  
 新塲六十錢 ● 一箱六本入 ● 二十箱合同  
 目録進呈 自錄石粉着水入 ● 二十箱合同  
 本舖 自錄御入用の御方各品御製  
 化粧問屋 化粧御製入御甲  
 中塲二十錢 ● 一箱九本入 ● 二十箱合同  
 小塲十錢 ● 一箱十五本入 ● 二十箱合同  
 三車日廿一席地本町

## 商標

## 登録

新年之御慶目出申候先以四方御花玉桂方益御福御超被遊候美大賀候舊年は弊店石粉の元  
 祖の三能石粉 玉子油か美人桂玉  
 玉のばたか 麝香石粉 美人洗粉 玉  
 何れも形の外なき御愛顧御厚情申上候向本年も倍荷御愛顧  
 加仕奉請の御目玉御厚情申上候向本年も倍荷御愛顧  
 問平不御愛顧御引立之程伏而奉希上候 強販買仕候  
 東京銀座一丁目つやぶきん  
 つやぶきん  
 電話本局四  
 百七十二番  
 本舖 佐々木支兵衛



## 謹賀新年

向本年も倍荷御愛顧御引立ヲ奉祈候  
 煙管筒御商 櫻井玉士郎  
 東京市日本橋區廣小町町丁目屋格板所道









○遠山霞

一 狐子稿

鶴ヶ岡の間に千年製りを重りたる橋のみれ橋と代
鶴ヶ岡の間に千年製りを重りたる橋のみれ橋と代
鶴ヶ岡の間に千年製りを重りたる橋のみれ橋と代
鶴ヶ岡の間に千年製りを重りたる橋のみれ橋と代
鶴ヶ岡の間に千年製りを重りたる橋のみれ橋と代

ひ一同にて御見上る様に致しては如何 殿某
一度は在座も致さずかたを召たれき打擲の眼
通を願つての情に托へて御願ひに入るの必要到底
願ひ面を行して御進言申上げ御聞入なくは御時々
でも其進言を御不承を致し御手打に相成とも
若からず君の爲に死に度てならぬ命運事太平の世
には欠が御悲願でならぬは此處は七郎殿に願ふが
差支なくて宜らうと存する殊に七郎殿は先殿が別

御進言の御始死致すべき命なるを各々方留めら
れて今日まで長らへたは儲けもの幸ひはか後立
に其の本懐で御進言 異イヤ命の相違なら相違
に任せてお置なれ 度でもその程原の御者無
人が難に支つてならぬお通を願つて御叙の事行
分す上れば腹が癒えさせぬ 櫻原殿は異も角先
七郎殿 眞直には是より拜請をお願ひす御見見す
と致ししやうと七郎殿一體なして御見見す
御進言を以め結城七郎御進言御伺ひの爲拜請の御願

- 改慶嘉祥 上田清十郎
開端萬慶 中野平次郎
瑞端嘉慶 伊東藤兵衛
瑞端謹祝 成宮長次郎
瑞端奉祝 大野屋徳太郎
新春嘉祥 飯田 定助
復新本賀 宮田辰次郎
新年萬禧 粕淵曾右衛門
新年敬祝 牧村彦右衛門
新春萬福 高砂屋孝吉
新春福社 白木屋倉吉
新春瑞嘉 山口 萬吉
履端嘉祝 高頭長治
履端敬祝 野原昌三
復新欣賀 中村小三郎
慶賀新正 中田商店
敬祝新正 加藤源右衛門
新年萬福 田村利兵衛
瑞端奉祝 松田 恒藏
鳳春萬福 西本作治
瑞端萬慶 根室 金子 隆造
瑞端欣祝 中川 和三郎
瑞端大慶 中川 金子 忠造
瑞端嘉祥 中川 久平
周歲萬慶 西川 幸吉
三陽開序 鈴木 龜治
曆序大慶 島田 辰五郎

○廣告
改慶恭賀 福井 北路喜代造
恭賀新年 福井 兼子猪右衛門

改慶恭賀 福井 北路喜代造
恭賀新年 福井 兼子猪右衛門



















關西特約大販賣

近世無比



價定大五錢 小二錢

牡丹香の功効は能書に表致し



山田篤三謹製 井上作次郎

特約販賣店 東京小問物商組合各店



袋入二錢 鏡付大箱 小箱三錢 鏡付大箱 大箱五錢 鏡付大箱 瓶入拾錢 鏡付大箱 高等名木入鏡付大箱 卅五錢

年新賀謹

Advertisement for '石鹼' (Alkali) and '檳香堂' (Bingxiang Tang). Includes text: '各種內外花露水 各種洗滌水 各種肥皂 各種香水 各種化妝品' and '檳香堂' logo.

拔萃ヲ寫美人之人万一擇撰中國全

Advertisement for '美人石鹼' (Beauty Alkali) and '清水開花堂' (Shimizu Kaikwa Dō). Features an illustration of a woman and a signpost with '美人石鹼' and '清水開花堂' written on it.

美人石鹼一品質全良ニシテ其販賣高世界流行石鹼之冠タリ

清水開花堂 勝太郎

Advertisement for '御買求の節弊店の商標' (The shop's trademark for which you are asked to buy). Features an illustration of a perfume bottle and text: '獨乙國新劑を輸入し最大新發明の化粧水にして常に用る時は日に焼る事を其他皮膚病一切によし

Advertisement for '清水開花堂' (Shimizu Kaikwa Dō) featuring an illustration of a woman and a child. Text includes '恭賀新年' (Happy New Year) and '清水開花堂'.

















會津若松

小間物商組合員一頁

岡山縣岡山市

小間物商組合員一頁

☆春だんくれ

東京 雲霞 散人

御隠居さん今日、誠に御無沙汰をいたしました。...

▲同

福島町 金澤店員

東京小間物商報の廿八年六月第一號を致列せし...

▲同

山形 小間物小僧

私は山形の小間物屋の小僧です。東京小間物商報...

▲明治三十年を廻へ併せて

東京小間物商報の隆盛を祝す

岩代若松 石堂賢三

回顧すれば余が敬愛する東京小間物商報は去る明...

して月を閲する十有八年を重ぬる二環、今や小...

謹賀新歲

天下無比衛生的顔料優等化粧品

芳香馥郁白美艷麗頗有効靈妙奇劑



東京市日本橋區東區  
東區丁目一番地  
東京莊園堂 齋藤泰助

製造發賣

金六  
金五  
金三  
金二  
金一  
金十

水自  
金十

二仲

定七年中ハ...

情ヲ蒙リ...

不亦喜ビ...

謹賀新歲

東京市日本橋區  
東區丁目一番地  
東京莊園堂

本會 高橋吉次郎

本會 高橋吉次郎



履端奉祝 長岡 加藤 竹吉  
 履端敬祝 柏崎 關五郎 左衛門  
 履端謹祝 羽後 澤澤 中野 德治  
 復新嘉祝 大曲 榊田 繁治  
 復新大慶 角館 長松 谷弟造  
 復新同慶 仁形 山 宮越 惣兵衛  
 復新奉賀 高岡 室崎 間右衛門  
 復新欣賀 萬山 熊崎 忠兵衛  
 復新可祝 富山 田中 甚藏  
 復新吉慶 上田 秋山 治郎 左衛門  
 年甫敬祝 岩村 田 蔦屋 治助  
 年甫吉祥 新發田 加藤 長藏  
 年甫慶賀 三浦 笠原 定吉  
 年甫欣賀 越後 加田 邊 金吾  
 年甫同慶 伊豫 金井 野 富助  
 歲甫可祝 小倉 德見 淳三郎  
 歲甫萬慶 長崎 近江 屋喜平  
 歲甫萬禧 佐賀 小柳 善助  
 歲甫敬祝 金澤 越 治郎 平  
 歲甫謹賀 高岡 富田 小七郎  
 改歲謹賀 新發田 大竹 新平  
 改歲奉祝 淺間 傳左衛門  
 改歲萬禧 加後 加茂 菊田 俊吾  
 改歲萬福 熊本 鹽山 仙藏  
 改歲欣賀 鹿兒島 藤武 喜助  
 開端慶賀 廣島 鴨谷 喜兵衛  
 開端萬福 德島 綿谷 富三郎  
 瑞端嘉祥 尾道 永田 寛三郎  
 瑞端嘉慶 三條 青柳 正吾

# 恭賀新年



電話花四四八

小丸三輪  
 問屋見善  
 問屋兵衛

東京市日本橋區四丁目百

嘉端欣祝 高知 井上 作次郎  
 天令開端 九島 久保 傳吉  
 周歲嘉儀 松山 和泉 商店  
 瑞端可慶 福岡 辻 德次郎  
 嘉端同慶 長崎 立野 權二  
 嘉端大慶 熊本 金澤 辰三郎  
 三陽開序 佐世保 新免 久次郎  
 周歲萬福 唐津 多久 島利助  
 曆序大慶 久留米 廣松 次平  
 周歲吉慶 高松 綾田 安次郎  
 瑞端欣賀 鳥取 龜澤 安次郎  
 恭賀新年 廣島 塚本 壽吉  
 嘉端大慶 和歌山 廣田 伊助  
 謹賀新禧 德島 大石 庄平  
 恭賀新禧 津山 秋田 嘉作  
 恭賀新禧 但馬 豐岡 石田 嘉作  
 謹賀新歲 廣島 田中 善助  
 改年謹賀 尾道 岡田 仙次郎  
 改年敬祝 周防 宮市 久保 庄吉  
 改年謹祝 赤間關 篠原 周藏  
 新禧萬福 姫路 奧平 市太郎  
 改年敬賀 松山 織原 嘉右衛門  
 新禧敬祝 和歌山 川廣 商店  
 新禧萬福 德島 中村 利平  
 新禧萬禧 小倉 井澤 元兵衛  
 新禧慶祥 九龍 吉岡 作治  
 新歲謹賀 久留米 松本 芳五郎  
 新歲奉祝 福岡 高田 與助  
 新歲慶賀 門司 三淵 滿吉

護賀

新奉

有名賣藥  
化粧品類 問屋

東京市馬喰町壹丁目

(電話浪花六五二番)

岳陽堂 〇平尾賛平商店

營業主任

平尾賛平

會計主任

平尾鉄也

營業主任

平尾貫一

貴功をみるのみ

ダイヤモンド

貴功白粉  
ダイヤモンド  
一名無害のり

小町水  
原のり下

用御省内宮  
水香丹牡

水花を  
る雪月

美人

良純も最質品

廉低了願格價

恭賀  
新奉

會計補 淺井國太郎  
營業補 勝浦直太郎

店員 山本熊吉

原田廣吉

伊藤宗吉

平尾清治

黒田延三

鳥飼光三

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

年月五日十五日廿五日三回發行通算金幣五厘一 郵街無發行入 西 森 氏 城















水産博覽會評議員會

去八日午後三時より農務省に於て第二回水産博覽會評議員會を開き、岡本農務大臣總理、左の演説を發したる。

今回第二回水産博覽會出品の獎勵及び其他の設備に關し演説を要する事項は、以て既に評議員の案を預はし、本會が諸君を以て採に審する所なり。

第一、第二回水産博覽會開設の事なる既に諸君の御了解あり、如く是は水産調査及び海關會議貴院より建議のあり、政府亦其必要を認めたるの結果、外ならず、其要々主として當業者を誘導し、水産に關する智識を啓發して、以て水産産業の進歩改良を促し併せて國富の増進を圖らんとするに在るは本職の務を察せざる所

本會開設に關する諸般の準備に就ては時機の存するを以て其を要するもの之を既に往々に識み將來を以て既に整へ、施設する所あり如之。本會開設の目的を全國各地に派出し本會開設の趣旨と出品上の注意に關し懇切に開設せしむる等極めて勸奨獎勵の方針を採來るる。

然りと雖も從來博覽會等に於ける出品の狀況を回顧せば、殊に深く自他相互の利益を國の意思に乏しく又は勞を要するが如き出品に至りては成るべくは之を避くるの傾向あり、是れ必竟當業者の未だ博覽會の効用を知らざるに坐せり。抑、亦博覽會の方法未だ盡さざる所あり。

出品を獎勵する爲め出品購入内規を設け、其の價額に委とせ、からざるもの、特に其の費用を償ひ其出品の價額と等しきと同時に其分の保護を與へ、以て當業者を鼓舞し、各自其勞費を計す可き有益なる出品を出品せしむべきなり。

尙會中當業經營ある者を召集し、水産の要項を諮問し、又漁業製造業等の方法に於て他の簡便となり、効多し、かつ其の設備は可成實績の方法を設け、其他特殊の賣場商店の設置等に關する各般の施設をなし、以て來出品物の外別に博覽會の價額たる精彩を發揮し、本會をして

偉大の効果を收めしめんことを期す諸君幸に此意を体し、諸評議員に就き充分の審議を盡されんことを望み云々。

大臣の演説終る、諮問案に付し、開講す、同案は都合四種にして、即ち左の如し。

(第一號) 出品購入内規制定の件。水産上の智識を啓發するの目的に於て、以て第二回水産博覽會に於て、凡そ水産物品其他水産物の陳列のみに止らず、廣く各地の漁具漁船の器其製造業種其他教育經濟に屬する諸般の器具其調査等とを蒐集陳列し、其短長優劣を比較し、以て新業の進歩發達を圖らんとす。

出品は勞費頗る多く且其出品は他に販賣の途あるもの甚少、故に本局に於て適宜購入の法を設け、其勞費の幾分を補償し、以て其出品を獎勵せんとす。而して其購入すべし種類に限り、全國各地に於て、其主要なる種類を指定し、以て別に購入内規を定め、地方官に轉讓して、其種類を既定し、以て獎勵の効果を全かしめんと欲す。

製造本舖下各區師丹頂堂發賣元

製造本舖下各區師丹頂堂發賣元。大販賣東京小間物御商組合中。同賣藥御商組合中。

Advertisement for '雲梅' (Cloud Plum) medicine. Includes a circular logo with 'TRADE MARK' and '商標' (Trademark). Text describes the medicine's benefits for various ailments and provides contact information for the manufacturer and distributors.

Advertisement for '白菊' (White Chrysanthemum) and '白菊あらび粉' (White Chrysanthemum powder). Text describes the products and their uses, mentioning '製造元' (Manufacturer) and '大販賣東京小間物御商組合中' (Wholesale Tokyo Small Goods Merchants Association).

Advertisement for '和服' (Japanese Clothing) and '和服御商組合中' (Japanese Clothing Merchants Association). Text lists various types of clothing and accessories, such as '和服御商組合中' and '和服御商組合中'. It also mentions '製造元' (Manufacturer) and '大販賣東京小間物御商組合中' (Wholesale Tokyo Small Goods Merchants Association).

東京市芝區西の久保巴町

不相愛御愛應御引立之君偏二奉應二奉候

の如き一單の製品を場内に展列するのみにては... 第一條 第二回水産博覽會事務局に於て漁業、製...

第二條 此内規に依り購入せる出品物は左に掲ぐ... 第一、地方又は一管下に行はるる漁具、漁船の維...

第二、地方又は一管下に行はるる製造用器具機... 第三、地方又は一管下に行はるる水族の類...

第四條 事務局に於て指定したる出品にして他に... 第五條 此内規に依り指定したる出品にて購入せ...

第六條 此内規に依り購入したる出品は閉會後十... 五日以内は於て其物品を事務局に納付すべし

在に掲ぐる落語は去十一月本組合新年宴會の際... 三遊 今川 講演

世の中によく噂を吐く御人がございませう。尤... 此方の案へ手紙を出さうと思つて。書ける間に...

「彼地へ行ったてにヤア驚かさしたれ。雨に降ら... 此方へ来た。手紙を出さうと思つて。書ける間に...

「お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お... 此方へ来た。手紙を出さうと思つて。書ける間に...

「お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お... 此方へ来た。手紙を出さうと思つて。書ける間に...

中へ歌を叩つて歩いてます。香氣もんでます。... 此中へ歌を叩つて歩いてます。香氣もんでます。

「お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お... 此中へ歌を叩つて歩いてます。香氣もんでます。

「お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お... 此中へ歌を叩つて歩いてます。香氣もんでます。

「お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お... 此中へ歌を叩つて歩いてます。香氣もんでます。

「お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お... 此中へ歌を叩つて歩いてます。香氣もんでます。

今回 布哇黃楊櫛 此中へ歌を叩つて歩いてます。香氣もんでます。

一手販賣所 製造者 眞白 大和屋物産石橋門下

莫大小製造御票告 小間物屋さん仲間へは特別に働いて賣升

肌着靴下 各種 手袋品 莫大小製造御票告 鈴木卯兵衛



















本組合記事

▲奉天形表呈 皇太后陛下前御遊ばされしを拜  
 承し本組合より三輪重兵衛 淺井碩成の両氏又  
 五三會東京の両氏並に以て尾野實平(總務部代理)  
 長高節郎の両氏並に東京小間物商より西森武  
 誠、前田次太郎の兩氏執れも總代として西森武  
 誠を表を以て去月二十日宮内省へ出願して奉  
 天形表を奉呈せられたり  
 ▲皇太后陛下前御遊遊 拜承し驚愕恐懼ノ至一  
 摺ス様ニ至ニ東京小間物ノ誠意ヲ代表シ謹テ表  
 謝ノ意ヲ表スルニ誠信積習  
 明治二十年一月廿日 總代 三輪重兵衛  
 淺井碩成

▲皇太后陛下前御遊遊 拜承し驚愕恐懼ノ至一  
 摺ス様ニ至ニ東京小間物ノ誠意ヲ代表シ謹テ表  
 謝ノ意ヲ表スルニ誠信積習  
 明治二十年一月廿日 總代 長瀬 富太郎  
 當部平

▲奉天形表呈 皇太后陛下の前御遊ばされしを  
 拜承し東京總商會株式會社にて小池大代二  
 岡本太郎の兩氏代表を以て去月二十日東京誠意の  
 奉天形表を呈したるなり  
 ▲本組合員尾野實平氏も皇太后陛下の前御用  
 達なるの儀を以て右同様東京誠意の奉天形表を去  
 月二十日宮内省へ奉呈したるなり  
 ▲水産博覽會審査官 審査官長は藤に村田保氏  
 に命ぜられたるも審査官未だ任命なかりしが去  
 月十九日左の通り任命せられたり

▲東京小間物商會  
 皇太后陛下前御遊遊 拜承し驚愕恐懼ノ至一  
 摺ス様ニ至ニ東京小間物ノ誠意ヲ代表シ謹テ表  
 謝ノ意ヲ表スルニ誠信積習  
 明治二十年一月廿日 總代 前田 森次郎  
 西田 武成

▲東京小間物商會  
 皇太后陛下前御遊遊 拜承し驚愕恐懼ノ至一  
 摺ス様ニ至ニ東京小間物ノ誠意ヲ代表シ謹テ表  
 謝ノ意ヲ表スルニ誠信積習  
 明治二十年一月廿日 總代 前田 森次郎  
 西田 武成

▲東京小間物商會  
 皇太后陛下前御遊遊 拜承し驚愕恐懼ノ至一  
 摺ス様ニ至ニ東京小間物ノ誠意ヲ代表シ謹テ表  
 謝ノ意ヲ表スルニ誠信積習  
 明治二十年一月廿日 總代 前田 森次郎  
 西田 武成

外品を進めば第一若くは粉水粉足利に開く等な  
 ること云ふ  
 ▲外人の商標登録 昨廿九年十一月廿日より日  
 國條約第十七條に依り獨逸國臣民の意を特許及び  
 商標登録を我農商務省に出願したるものに實に三  
 百餘件之多きに達し其内特許局の審査より商標  
 登録済の分は今日迄に三十餘件なり又日英條約第  
 十七條に依り本月四日より英國臣民の特許及び商  
 標の登録を我農商務省に出願したるもの  
 のは亦今日迄既に二百七十餘件に及ぶ前續々登録  
 を出願するものありと云ふ  
 ▲銀行 去十二月末に於る現在各種銀行は其數  
 千三百四十資本金二億四千五百三萬四千五百  
 十四圓に於て前月末に比し廿八萬六千一百九十九  
 圓を増加せり  
 ▲外人増加の概況 橫濱居留地クワルト氏は  
 府の洋雜物取引商の紛議に付同地商業會議所  
 の仲裁を容れたるが從來外國人の慣習として如何  
 なる重大の書に於て仲裁規則を遵守し併せて契約書に  
 調印したり外人増加の概況は是を以て略せざる由  
 ▲金銀購買の原因 輸入金銀類(内地)は不景氣  
 にも拘はらず顧客層の益々上向して又金銀類  
 は三分が亞細亞は五分高引縮りし由原因を聞く  
 ▲近年各國とも軍備擴張は云々迄も高揚の盛  
 なるに鐵道の延長も亦國大總領事館同國市場  
 回復して歐洲諸國之に比引上り來りしなり又船  
 隻多し東洋同船業も亦方角勝せしむるなりといふ  
 餘及び亞細亞の海運は清國の信用を增加したるに  
 依る鐵道の如きは昨年の初夏に比すれば殆んど四  
 割高なるなり

▲課税標準届の注意  
 課税標準届は本月より實施せらるるものにて納  
 税義務を有する事業者は毎年一月一日迄に其業  
 名及課税標準を登記して届出を爲す規定にて此届  
 出を怠りしは處罰の届出を怠らざる等の事發覺  
 する時は一圓以上一圓九十五錢以下の科料に處せ  
 らるれば脱税し其課税金三倍の罰金(科料)に處せ  
 らるるの條文は各事業者は深く注意すべき  
 事なり

▲課税標準届の注意  
 課税標準届は本月より實施せらるるものにて納  
 税義務を有する事業者は毎年一月一日迄に其業  
 名及課税標準を登記して届出を爲す規定にて此届  
 出を怠りしは處罰の届出を怠らざる等の事發覺  
 する時は一圓以上一圓九十五錢以下の科料に處せ  
 らるれば脱税し其課税金三倍の罰金(科料)に處せ  
 らるるの條文は各事業者は深く注意すべき  
 事なり

大日本農商務省御登録 岳陽堂平尾贊平製

東京馬喰町壹丁目

小町水



價目表

大瓶	二角
中瓶	一角
小瓶	五分
特大瓶	三角
特大中瓶	一角五分
特大小瓶	七分
特大特大瓶	四角
特大特大中瓶	一角五分
特大特大小瓶	七分
特大特大特大瓶	五角
特大特大特大中瓶	一角五分
特大特大特大小瓶	七分

THE DIAMOND TRADE MARK  
 AN EXCELLENT TOOTH POWDER  
 貴功 多老下 改良名 さいおみと



目丁宅町取馬市京東 製謹氏尾平

價目表

大瓶	二角
中瓶	一角
小瓶	五分
特大瓶	三角
特大中瓶	一角五分
特大小瓶	七分
特大特大瓶	四角
特大特大中瓶	一角五分
特大特大小瓶	七分
特大特大特大瓶	五角
特大特大特大中瓶	一角五分
特大特大特大小瓶	七分

本品は明治廿四年創業以來内外各地に非常なる好評  
 を博し従て販賣高之多事日本全國中第一とす且品質  
 之純良と價格之低廉なるは普く諸君の認むる處也

●實業團體代表會 去十八日午後終局の相決  
 會を開き、その議決を議決し、委員の容易に  
 歸郷すると、精力を盡し、等事等と申合せ又廣  
 澤早川玉利福大谷松尾山口等諸氏の演説あり  
 第四回新發明專賣大會の演説あり  
 一、内地移居に係る準備の要領及び其處置講究  
 二、物價の件  
 三、講究の件  
 三、明治二十三年巴里萬國博覽會に係る用意の  
 四、件  
 五、海外直輸出に係る要領の件  
 六、同業組合に對する注意の件  
 七、牛乳の輸出に係る要領の件  
 八、海外輸出に係る要領の件  
 九、通關及海關事務に於ける農工商の調査をなす  
 十、海外輸出の指圖に對し政府に懇分の保護を  
 十一、輸入アルゴリズムの取極を完全ならしむ  
 十二、關稅條約中試案所置の件  
 十三、關稅條約の發布を望み且其條約發布以前  
 に於て本會に對して建議せらるべき意見を提  
 せられたる件  
 十四、西班牙國產輸入税に關する件  
 十五、日本貨物商會輸出案「エクス」倉庫設備の件  
 一、稅關保管「エクス」倉庫設備の件  
 一、海關商會職員待遇改善の件  
 一、海外大日本商會事務所提出案の件  
 一、商業會議所條例改正案の件  
 一、商務會議所條例改正案の件  
 一、一應品高騰下大部砂糖運輸上の件  
 一、物價膨脹と通貨膨脹 戰後の物價膨脹を以て  
 一、物價膨脹の結果に歸するもの、物價膨脹を以て  
 一、物價膨脹の結果に歸するもの、物價膨脹を以て  
 一、物價膨脹の結果に歸するもの、物價膨脹を以て

膨脹の極點に比し、一割乃至二割内外低減を來し  
 たるを以て物品の需用増加が其一原因たりしを  
 知るに難からず若し或の如く物價の膨脹を以て  
 通貨膨脹のみに依るものならんば、物價に比して減  
 する事なれば戰後は何時迄も低減する事なかる  
 べきにあらざれば戰後は何時迄も生産的の戰費に投  
 資五十萬圓を一時的に貯蓄するに依るに依らざ  
 りば戰争以前に比し、實力缺乏し居るに依らざ  
 りば戰争の結果、海關の資金を以てする事な  
 りし物價膨脹に起る熱病に類するもの、一向空  
 過に於ては、去年の天災地變に類するもの、通  
 通關の膨脹の如しは、等々の天災地變に類するもの、通  
 減じ一時の好況を以てして任入に努めたる間、  
 及び小貯蓄に類するもの、亦一時の來品の實行  
 たる輸入品に類するもの、金銀圓滑ならざる  
 爲の取引、通關を加へ、買手の損失を招きたる  
 もの、亦ならして昨冬一般の商況漸く不振に  
 傾き、且即ち物價低降の徵なるべく故に今後  
 通貨は依然として減せざるも、價は需用増加の  
 事亦即ち然るべし、實業者ハ云フ  
 ●通關商會の一行ハ省直接に貿易若くハ製造に  
 從事する人々のみならず、東洋乃至日本に於て  
 九月若くは十一月の東京乃至其の日本支  
 那に於ける各市場の需用品を調査し、戰後之を報  
 道して之が供給を爲さんとするに在り、獨逸製鋼  
 會の此に對して出でたる所以のものハ獨逸、世界の商  
 業的觀察に關しては英米兩國は一着を輸し、且と  
 想像したるに由る而して其觀察を決定するに當  
 りては其觀察の實地的ならんを以てし、其  
 費用は專ら製造家の私費に依り、且、國會も  
 亦之が特別補助費として内地の消費費用を合して二  
 千五百萬の額を政府より要求せり、ならんは  
 角此結果如何を知らざる事と雖も、獨逸の海外  
 貿易に於ては一大轉捩なりと云はざる可らず (獨  
 逸支那ニキスプレス)

第四回新發明專賣特許  
 内國勸新發明專賣特許  
 愛賞賞  
 御婦人用 花元結手巾  
 都京坂根兄弟商會  
 製造 手江州物外  
 販賣 元六州物外  
 雲井織  
 雲井織と稱するは發售多年の經驗を  
 發明製造して前代未嘗有の  
 織物にして其體裁と幼幼は從來に  
 三浦級に及ぶ其體裁を以て稱したる一  
 種の新發明に依て潁れたる可  
 嗚に之を織成油染を施せば其  
 清水にて之を洗ふ時は再び  
 元の美麗に立戻るのみならず  
 元の美麗に充分其精を撰  
 絲染料共に充分其精を撰  
 び、幾度洗ふども其地  
 質を損し又伸縮變色等の  
 憂ひは決して之か殊に價  
 格も廉經濟の道に當る流行  
 季節用の上層御用之好み次第に  
 御服用の上層御用之好み次第に

東京發賣元丸見屋善兵衛  
 特約大販賣 天野源七  
 特約大販賣 森本支店  
 特約東京小間物問屋各店  
 特約大販賣 森本支店  
 特約東京小間物問屋各店

パイプ製造元  
 ライスベーパー各種  
 薄荷パイプ材  
 舶來パイプ問屋  
 東京市日本橋區  
 通り狸町四番地  
 越 營谷爲吉

貴嬢紳士の香料  
 大瓶價六拾五圓  
 小瓶價三拾五圓  
 大瓶價二拾五圓  
 小瓶價一拾五圓  
 大瓶價一拾五圓  
 小瓶價八圓

星野與兵衛  
 電話本局九百三十九番  
 東京市日本橋區  
 大日本橋區  
 大日本橋區  
 大日本橋區

**秘傳用油**

金城道入  
希靈藥法  
正保功有  
きかみを靈油  
製造主新



**小問物化粧品各種**

花王洗粉  
自慢

白くしきめりな花王洗粉  
くくくになるめさまし石鹸  
芳香水露 草總 耐すびた  
洋花露 耐すびた

**野大金五郎**

東京市東區  
堂城金

此乙女はだのワッペに製劑を母に贈りしに於ける其品  
種を後買以來數百種中特に御角を願ひ賜り來て其製品の  
販賣高に立至り候に御角の如き一時期に於て未嘗有  
し其價の人造麗香多量に含有すれば其香氣に比  
して是も需用に過すべしと雖も本年は工場を擴張  
し其分前種類の有の賣高に御満足に相成らざるに候  
共其分前種類の有の賣高に御満足に相成らざるに候  
至く御品切に相成らざるに候御注文致候御度候に  
願上候也

一見本御入用ノ御入御中絶次第本品及之看板引札  
等ノ御入用ノ御入御中絶次第本品及之看板引札

**發賣元** 小問物問屋 田中花王堂  
東京市東區  
御二丁目

御賣仕候間御便宜御取引先へ御注文ノ程  
奉願上候

**昨冬高高三千萬個**

新發明化粧入造麗香入  
花のいかに乙女肌卸直段表

特別引一箱五十五以上一箱三十三以上  
別引一箱五十五以上一箱三十三以上  
行、外御買ノ御注文ノ特別引御買

銀二金價元一具一箱一  
上以上五五枚一具一箱一

**吉常津木**

東京市東區  
北町三丁目

靴、手袋、帽子、小物類

靴、手袋、帽子、小物類

**洗粉發賣**

網目あひ糸  
木桶丸華堂

定價  
壹袋 壹錢  
五錢

**布哇黃楊櫛**

此布哇黃楊櫛の功便なる是迄其價等と  
其美高楊櫛の遠く及ばざる奇品にして  
其實全く堅固にして其木目鮮明美艶なり  
第一櫛の齒當り至て和やかに頭髪に障  
らず毛面の通り能く且從來の南京黃楊櫛  
は白黄櫛の如く貯藏に成候其決して  
色焼の患ひなく異に有功の奇櫛なり且其  
製作に精を盡し細挽及磨り別段念入候  
に付一見木島黃櫛の代用而して其價は  
本島黃櫛の半に滿されり常用の盛ならん  
事は諸君の保証する處なれば江海の  
兩業諸君何卒一臂を振て御買私めら  
ん事を希候

製造者謹白

**一手販賣所小問物問屋**

東京市神田區  
大和屋物右衛門

上等本島黃楊櫛及木桶能代櫛  
類其外時精有運櫛類精及湯利  
類を以て販賣仕候

附言

**製造本舖 五溪堂**

東京市日本橋區花町廿七番地

香のいかに

小町町  
新町

候可相第第次御方望賣  
任候御相會照へ之御小

**本舖 九華堂 小林幹治**

東京市東區區工町

弊堂製造ノ洗粉ハ全販販御買ノ爲一層原質ヲ  
改良シ香氣ニ充分注意致候ニ付各品御試用ノ上謹  
續御注文ノ程候之奉願

**花の君御白粉**

花の君御白粉

包入一箱一十個  
包入一箱一十個  
包入一箱一十個

**花の君石**

花の君石

包入一箱一十個  
包入一箱一十個  
包入一箱一十個

**善丸小問物問屋**

善丸小問物問屋

包入一箱一十個  
包入一箱一十個  
包入一箱一十個

○遠山霞

(第三回)



一狐子稿

折阿娘奏の者出ぬり二人を見るより俄然に「是は  
 根原殿結城夫に非ず御坐らうか嗚のし  
 侍連に入らせられた御坐らう御座の賑ひ早速  
 待遠に及せられた御坐らうか嗚のし侍連  
 儀を先へ結城殿其跡に於て若し異存な  
 御坐らうか嗚のし侍連に御座の賑ひ早速  
 御坐らうか嗚のし侍連に御座の賑ひ早速  
 御坐らうか嗚のし侍連に御座の賑ひ早速

か御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 前殿の跡を吊らへて御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 谷の背に連に座の浮世を討つた門の御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 は座の梅のみ老木に似す時知り顔に驚はたは  
 方當の御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 世に御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 我妻娘の被衣と共に御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 俗事に拘はらさし今日行事始めの御式なれ

折阿娘奏の者出ぬり二人を見るより俄然に「是は  
 根原殿結城夫に非ず御坐らうか嗚のし  
 侍連に入らせられた御坐らう御座の賑ひ早速  
 待遠に及せられた御坐らう御座の賑ひ早速  
 儀を先へ結城殿其跡に於て若し異存な  
 御坐らうか嗚のし侍連に御座の賑ひ早速  
 御坐らうか嗚のし侍連に御座の賑ひ早速  
 御坐らうか嗚のし侍連に御座の賑ひ早速



ら仕立遊ばした前殿の若木は度見取になりま  
 したらうと云ひ終らぬに田鶴といふ口能の腰元  
 が馬か姫様形の若木ははんに其跡は御坐いま  
 ず人に驚へて申すなら色白は其跡は美しく  
 句ひこぼる御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 寸難始まはす其間老木の梅委は其間りの御座  
 て田鶴さん常盤ばかり早見見せり  
 と被衣に連て御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 四方を廻り

出仕せざるは思ふあらずと儘かの御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 所へ出仕なら留守の愛娘の被衣が元元したに到  
 手にして昔物語なぞ語り居る父上上の跡の  
 運ければ何となく心淋しく物思ははる気色なる  
 老女の敷居が取り取り被衣は物の本も願  
 語ははる気色に思はせうと庭へか出遊は  
 し梅でも御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 うと云ははる被衣は完備と打笑み我はんに能い  
 所へ氣が附きた梅といへば父上梅がふ手づか

女那を喚ぶつた梅の花を其共に見るの物に  
 顔方に見せり度いウツレウツレしうし時  
 の右衣の被衣に入らせられた御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 善は申座に何故か出なれぬか見せり  
 は聞えらうしたまふなかなり其跡はめか  
 何に云はれど各に田鶴は少し心附きす  
 右の事様とせばその方何故か久た立立  
 かなれなさいましたらう女にせし見は  
 那の事さうと男にせし見は  
 らし見せり御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 寸難その被衣のいぢめるも其跡は御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 坐いそそ衣ならなふと御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 衣様の相原殿大々様いさ多方事申上げて御機  
 嫌を留して行なせぬ

「その梅咲ける園に出て此方彼方を打斬る様  
 宛然と御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 梅の若木の花を眺めて其被衣は此梅の名を  
 「どめこかし」と語てあそびはういふ御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 ほどと尋ねに被衣打笑み馬自から能は  
 弁ませぬと西行法師の様に「どめか梅  
 なるを御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 またを此名にしたかと思はれませうと聞いて敷  
 の殿に入り梅はなんぞ御座難有ふ存と休息所の方へ赴き

●株式下落の銀行連行 昨起起業心の持異せる  
 際諸株式の引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 して多くの株式を存蓄し自ら供給しを金取りた  
 る株式は市中は其後諸株式引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 得高直の時を奪ふとされ其内には多少の恢復  
 を見るなり其の望みを奪ふとされ其内には多少の恢復  
 一陽來復と共に相場を漲る新利に至りては  
 年々の發賣に於て其利益の多寡を當分金融の緩  
 利す「見直し」とを懸念(再考)の多く引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 の低落に於て今引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 を懸念せざるありて市中の大半筋と稱せらる  
 八の中にも其利益の多寡を受け不足なる者多  
 く佛紳士の間に引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 に於ける思入に引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 其利益を得る人の上に渡さざるも亦あり  
 各銀行に於て其利益の多寡を受け不足なる者多  
 くに引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 請求し來る引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 請らざる者 此際引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 請らざる者 此際引連れ銀行 昨起起業心の持異せる  
 請らざる者 此際引連れ銀行 昨起起業心の持異せる

女那を喚ぶつた梅の花を其共に見るの物に  
 顔方に見せり度いウツレウツレしうし時  
 の右衣の被衣に入らせられた御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 善は申座に何故か出なれぬか見せり  
 は聞えらうしたまふなかなり其跡はめか  
 何に云はれど各に田鶴は少し心附きす  
 右の事様とせばその方何故か久た立立  
 かなれなさいましたらう女にせし見は  
 那の事さうと男にせし見は  
 らし見せり御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 寸難その被衣のいぢめるも其跡は御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 坐いそそ衣ならなふと御座難有ふ存と休息所の方へ赴き  
 衣様の相原殿大々様いさ多方事申上げて御機  
 嫌を留して行なせぬ

硝子製造の話し (時評)

硝子製造の起原
硝子の年代ハ幾として確かならずにせよ...

硝子の製造
硝子の製造は明治十一年伊藤、朋及、藤原...

硝子の製造
硝子の製造は明治十一年伊藤、朋及、藤原...

硝子の製造
硝子の製造は明治十一年伊藤、朋及、藤原...

職工 四人

此處別に各密科、調合科、用度科、賣場科等あり...

硝子の製造
硝子の製造は明治十一年伊藤、朋及、藤原...

硝子の製造
硝子の製造は明治十一年伊藤、朋及、藤原...

硝子の製造
硝子の製造は明治十一年伊藤、朋及、藤原...

Advertisement for 'SANTAL DEBILITANT' and 'CRADIE & CO CHICAGO' featuring a bear logo and various product descriptions in Japanese and English.



歌舞音曲停止の期限

歌舞音曲の停止期限ハ發業者に在てハ十五日間にして即チ明廿六日に満期となる事なれども一般人民の便止メ十日間にして其期限は他の歌舞音曲の停止して候し事とも異なり...

臺灣に於ける支那の

一月まで八箇月間澳門を經由して臺灣(淡水安平兩港)に渡航し滬南人の總數ハ六千四百五十二人又此八箇月間に右兩港ハ廈門に赴ける人は四千八百六十六人に至り...

ヤルバーニ當備國アクリ

近頃英米に於ては同發業者の專賣權を新舊人進路對立會に設立し其對立會の專賣權を新舊人進路對立會に譲渡せしむる計畫あり...

三遊亭團左講演

夫から大團圓の有様をお目に掛けたつた、大團圓いふ所へ何の宜い處だもんで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...

三遊亭團左講演

夫から大團圓の有様をお目に掛けたつた、大團圓いふ所へ何の宜い處だもんで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...

噴つき(承明)

「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...

噴つき(承明)

「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...

噴つき(承明)

「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...

噴つき(承明)

「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...

噴つき(承明)

「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...

噴つき(承明)

「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで、大きな氣を擧う二本舞をかけた「フムム」だいで...





又古志トベ

大勢力を盡してもみ消す時、必らず止まるものなれども...

火の用心の辨(示前) 作者 不詳

如何に急火の時なりとも常に心得るもの必らず...

天保年間觸書(の寫し) 町々年番 名主共

伊保度被仰出 御慮意並度度 御慮意を以て町々...

石之町町中一線 不現帳早々可申通候

右之通欠師左近將 櫻橋立合被仰渡奉長、以仍面

組々 年番名主一人宛

用役被所罷掛 寄居共之儀(寛政三亥年改正之節)

出入り被下敷 御取調申立、其申請取調前々、

申渡之儀、御取調申立、其申請取調前々、

御取調申立、其申請取調前々、

御取調申立、其申請取調前々、

御取調申立、其申請取調前々、

如何に急火の時なりとも常に心得るもの必らず...

天保年間觸書(の寫し) 町々年番 名主共

伊保度被仰出 御慮意並度度 御慮意を以て町々...

石之町町中一線 不現帳早々可申通候

右之通欠師左近將 櫻橋立合被仰渡奉長、以仍面

組々 年番名主一人宛

用役被所罷掛 寄居共之儀(寛政三亥年改正之節)

出入り被下敷 御取調申立、其申請取調前々、

申渡之儀、御取調申立、其申請取調前々、

御取調申立、其申請取調前々、

御取調申立、其申請取調前々、

御取調申立、其申請取調前々、

御取調申立、其申請取調前々、

合資丸平小問物商社 第一回決算報告

明治二十九年下半季至十一月卅一日

貸借対照表 貸方負債ニ属スル分

資本金 二、五七九

人名勘定(未収入金) 四、八九六

商品名 三、〇〇〇

貸付金 二、五七九

流行鬚形廣告

まろじ形ハ...

柳ばし形ハ...

花み形ハ...

朝日形ハ...

都形ハ...

勝山形ハ...

製造發賣元...

衛生最良...

丸平小問物商社

丸平小問物商社

丸平小問物商社

丸平小問物商社

餘興

○ 籠の近みち 大包 十六八圓  
 ○ 備後 心體安樂丸 小包 六圓  
 ○ 但し小包を朝夕とも常に用ひてよし  
 ○ 効能

○ 観かうは我子孫のため  
 ○ 民を憐れは日月のごとし  
 ○ 民を貧るは茅田の草を掃がごとし  
 ○ 愚漢は未だ出世の手本  
 ○ 不忠不孝は人面のけだもの  
 ○ 朝夕の看舞は其身の冥加の御禮  
 ○ 信心とてはまことのこところ  
 ○ 福もの福の業兩者  
 ○ まこと福のあつたり所  
 ○ 自慢は智慧の行とまり  
 ○ 偽かしん道をさくことごと  
 ○ 名聞ははり手しの虎のごとし  
 ○ 請用はその身長尺の隠徳  
 ○ 家業に烈きは腹ひのもとし  
 ○ 非道の金持は三つ子にもたせし如く  
 ○ よき金持は陰徳のむくひ  
 ○ 陰徳の機かえさの下掃ひ  
 ○ 足る事を知れば福の神  
 ○ 足るもの未だ足らぬ  
 ○ 商人は買先買母のござとし  
 ○ 無慈悲のしん豆の買の賣人  
 ○ 始末に運用をわするやうに  
 ○ 手習に運用の目めりやうに  
 ○ 堪忍はその身の長尺の基  
 ○ あきらめこころの養生  
 ○ 堪忍のならぬ心の掃除ぬゆゑ  
 ○ 短氣は其身のけりき刀  
 ○ 我慢はこふしのたまり所  
 ○ ねたみは其身のあだでたき  
 ○ 喧嘩は後悔のもと  
 ○ 家内けんくわん貧乏の種まき  
 ○ 家内和順は福の神の御祭

○ 後衛はその身前かたの不便内  
 ○ 博奕は毒を知てとくを飲か如し  
 ○ 後人は真珠に針をつくむがごとし  
 ○ 大酒女郎買はまごつきの下ごしらへ  
 ○ 人を憎むをどうぶつのごとし  
 ○ かすりどまり罪利のはきざり  
 ○ 八をばいといふ己があしきゆゑ  
 ○ 有のまは正面のかんばん  
 ○ 小食は長命のしるし  
 ○ 大酒遊舞は未の身しらす  
 ○ 善人は五常のかみ  
 ○ 道加

○ 朝顔はその身運者のもとし  
 ○ 借難はその身病身のもとし  
 ○ 樂は苦のなれ若くは樂のたね  
 ○ 右此御祭の功能あけてかたしなたな權もて  
 ○ くらゝて其功能の遠かなるを知りたまふべし  
 ○ 古歌に  
 ○ 極極ハにしにわれはひがしにも  
 ○ きた道さがせみな身にもある  
 ○ 後の世とよけば遠きに似たれども  
 ○ しらすやけよ其日なるな  
 ○ 成りやにあらうと言ふ給ことば  
 ○ たいなすやうに成と知るべし  
 ○ 家内和所 其身野徳成  
 ○ 此方より一切無罪道責不す  
 ○ 仁徳に稱なる義過れば疑なる禮過れば説と  
 ○ なる智過れば不徳なる信過れば損とする  
 ○ 幼童大常にかひひて生涯安ん無  
 ○ 病長壽うたかひなし  
 ○ 右教訓業  
 ○ 大酒大食は  
 ○ 色欲淫欲は  
 ○ 家業口論は  
 ○ 家業口論は  
 ○ 金銀散財は  
 ○ 我人不和は  
 ○ 上癮一圓弘の度候間御覽之上次第傳言之程奉希  
 ○ 右候一圓弘の度候間御覽之上次第傳言之程奉希  
 ○ 妙々丸本舖 寺田共濟堂



○ 東京及比叻諸小問物問屋に於て廉價御買仕候  
 ○ 生白粉各種  
 ○ 煉式白粉製造  
 ○ 出仕粉約仕居り其粉もて廉價に御買  
 ○ 仕候間多少に限らず御買引務下此後諸君告候也  
 發賣元 佐佐木町 山本逸造

新製都ようじ廣告



○ みやこようじは神代杉  
 ○ の高野美濃なる指入神代杉  
 ○ に既し海外へ輸出し好評  
 ○ を得たる品なり  
 ○ みやこようじは特用  
 ○ 上粉にして價格廉し景  
 ○ 物にて各商店の賣出  
 ○ もに於て適當の品なり  
 ○ みやこようじの價格は  
 ○ 上等丸より七入にて  
 ○ 壹圓壹錢五厘十八錢  
 ○ 上等黒丸七入にて  
 ○ 壹圓貳錢 十二拾  
 ○ 壹圓参錢 十二拾五錢  
 ○ 右三種共拾箱以上御引可

發賣元 東大和屋小兵衛  
 大販賣 町丸見屋善兵衛  
 同 日丸見屋善兵衛  
 同 馬本丸見屋善兵衛  
 同 京都丸見屋善兵衛  
 同 座一丸見屋善兵衛  
 同 横山丸見屋善兵衛  
 同 脇田盛眞堂



此東からすは口中にしみはれる堪なく又原品の變  
 色すて御買成是が販賣の標を願ふ  
 此像の如くは從來世に有難なる品とて造か一種新  
 發明に依る秘薬の原料を以て製しられれば附く事早  
 効してはける事かと且その口中の諸病を除く事早  
 効あるは能に其比を見ざる所たり幸願同業諸君  
 何卒御買成是が販賣の標を願ふ  
 東京市神田區高松橋本八番地  
 製造本舖 高松傳之助  
 正誤 前號二高松傳之助トハ高松傳之助 誤  
 果二日



### 諸官省御用

●全國五一會品評會に於て進歩銅牌受領

人后蠟  
大形時中形四時形三時形均受宜  
丸通時中形四時形三時形均受宜  
花王石鹼水舖(電)長瀬富郎  
東京市日本橋區區町二丁目  
電話 四四八八番

### 小町肌卸直段表

特別引 三箱 五箱以上一箱全付 廿六錢  
此小町は花のハッセル...  
花王石鹼水舖(電)長瀬富郎

### 特約大販賣

近江屋源七  
水野彌吉  
東京市日本橋區區町二丁目  
電話 四四八八番

### 女共金種掛發賣廣告

特製金種掛發賣廣告  
金珠天降  
此小町は花のハッセル...  
花王石鹼水舖(電)長瀬富郎

### 善 丸見屋善兵衛

東京市日本橋區區町二丁目  
電話 四四八八番

### 世界無比

玉の肌  
本舖  
久保町十番地  
電話 四四八八番

### ライオン 齒磨の特効

世界無比  
YOKOHAMA TOKYO & C<sup>o</sup>

### 近世無比 初雪

關西特約大販賣  
井上作次郎  
東京市日本橋區區町二丁目  
電話 四四八八番

